

- 記者発表資料 -



国道357号東京湾岸道路(本牧ふ頭～大黒ふ頭)
の開通時刻をお知らせします。(第2報)

3月27日(日)

上り(大黒ふ頭方面) 23時 → 至 ベイブリッジ

至 八景島 ← 下り(磯子方面) 20時

～横浜市内の国道357号のミッシングリンクが遂につながる～

開通概要

- 開通日 :平成28年3月27日(日)
- 開通時刻 :上り(大黒ふ頭方面)23時
下り(磯子方面)20時
- 延長 : (本線)約2.3km
:(本牧出口ランプ)約0.6km

※開通日については平成28年2月24日に記者発表しています

※開通式典の概要については、後日お知らせします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、
横浜市政記者会、横浜海事記者クラブ、横浜テレビ・ラジオ記者会

お問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所 電話 045-311-2981 (代表)
副所長 さとう しげたか 佐藤 重孝 調査課長 ふじひら ただはる 藤平 忠晴

(「本牧出口ランプ」について)

国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所 電話 045-226-3765
統括建設管理官 ちば てるお 千葉 照男 企画調整課長 ありじ りゅういち 有路 隆一

国道357号東京湾岸道路 本牧地区 開通概要

- 国道357号東京湾岸道路は、横須賀市から横浜市、川崎市、東京都、千葉市美浜区に至る延長約80kmで海岸沿いに主として埋立地を利用した道路です。湾岸地域に立地する諸都市、空港や港湾等の国際的業務機能をはじめとする物流拠点やオフィス、レジャー施設等、さまざまな都市機能の効率的な交流と効果的な連携を図る道路です。
- そのうち、神奈川県区間は、延長35.1kmのうち18.6kmが開通しています。
- 今回開通区間の概要
 路線名：国道357号東京湾岸道路神奈川県区間
 開通区間：横浜市中区本牧ふ頭～横浜市中区錦町
 車線数：（本線）暫定2車線、（本牧出口ランプ）1車線
 延長：（本線）約2.3km、（本牧出口ランプ）約0.6km
 ※本牧出口ランプの概要については巻末の参考資料を参照

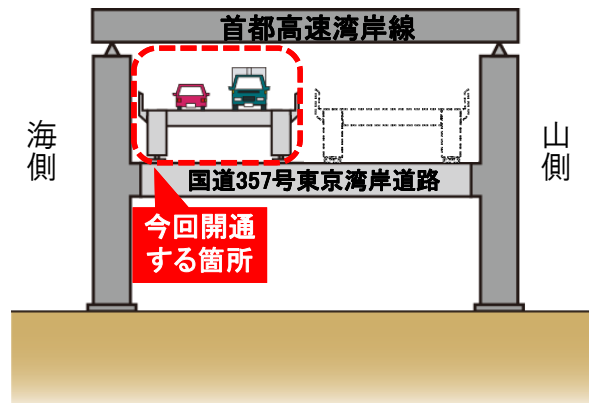
■ 国道357号東京湾岸道路(神奈川県区間)



■ 今回開通区間の拡大図



■ 今回開通区間の標準断面図



■ 今回開通区間の状況



写真①: 磯子側アプローチ部



平成28年1月撮影

写真②: 本牧ふ頭出入口交差点



平成28年1月撮影

写真③: 高架橋部



平成28年1月撮影

写真④: ダブルデッキの下層を今回開通



平成28年1月撮影

参考資料 本牧出口ランプの概要

＜京浜港湾事務所では、横浜港の国際コンテナ戦略港湾の取り組みの一環として、横浜港内や背後圏とのアクセス強化のため、臨港道路の整備を行っています。＞

■ 本牧出口ランプの概要

- 今般、国道357号東京湾岸道路(本牧地区)の開通にあわせ、本牧ふ頭内に新たな出口ランプが開通します。
- 今回開通区間の概要
路線名：本牧出口ランプ
開通区間：横浜市中区本牧ふ頭A突堤内
延長：約0.6km
車線数：1車線



■ 本牧出口ランプの整備目的

- 出口ランプの整備により、横浜港における物流の拠点である大黒ふ頭から、消費地である横浜市中心部や多くの物流施設が立地する新山下地区・山下ふ頭などへの円滑な輸送が確保されます。

横浜市中心部方面へ向かう物流車両

